

平成26年度環境とやま県民会議 事業報告

1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。

こうしたことから、当県民会議では、昨年度も引き続き統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図るとともに、新幹線開業直前の秋に、駅や観光地等での清掃美化活動を推進するなど、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけた。

当県民会議では、①「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、②「とやま節電・省エネキャンペーン」、③「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開した。

2 事業内容

(1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

<循環型社会づくり>

①とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業の実施

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成26年4月～平成27年3月
- ・内 容 引き続き登録事業者を拡大するとともに、とやまエコ・ストア知ってもらおうキャンペーンやエコな買い物マナーアップ事業を実施するなど、「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進した。
- ・実 績 登録状況(60社977店舗・6商店街、平成27年3月現在)

②地域団体清掃美化活動推進事業の実施

- ・主 催 富山県、市町村、富山県環境保健衛生連合会、各市町村環境保健衛生協議会、富山県県土美化推進県民会議、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成26年10月～12月
- ・内 容 新幹線開業に向けた「おもてなし」の一環として、来県者をよりきれいな富山県にお迎えするため、県内の駅や観光地等での清掃活動を推進するキャンペーン「新幹線開業！ピカピカとやま一斉清掃運動」を実施した。
- ・実 績 実施件数：151件 参加者数：約42,000人

③とやま環境フェア2014の開催

- ・主 催 とやま環境フェア2014開催委員会
- ・実施時期 平成26年10月4日(土)、5日(日)(3R推進月間)

- ・会場 高岡テクノドーム（富山県産業創造センター）
- ・内容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行った。
- ・実績 2日間で約15,000名参加

④ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主催 富山県、環境とやま県民会議
- ・実施時期 平成26年10月4日（土）（とやま環境フェア2014と併催）（3R推進月間）
- ・内容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深め、ごみゼロ型社会の取組みを推進するため、表彰や活動報告を行った。
- ・実績 約150名参加
環境とやま県民会議会長表彰（ごみゼロ・リサイクル推進功労者）
1団体、2事業所

<低炭素社会づくり>

①エコドライブ推進運動の実施

(ア)エコドライブの推進

- ・主催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、（公財）とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成26年4月～平成27年3月
- ・内容 大気汚染の原因となる窒素酸化物及び地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出の削減並びに燃料消費量削減に伴う省エネルギー等の効果があるエコドライブを実践するため、講習会への参加や（公財）とやま環境財団が開催した中小企業向けの省エネ研修会などによりエコドライブの方法及び効果について理解を深めた。
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、率先してエコドライブを実践した。
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1706/library/kakari2/eco/eco.htm>
- ・宣言者数 109,477名（平成27年3月末現在）

②(イ)エコドライブ講習会&エコドライブコンテスト2014の開催

- ・主催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、（公財）とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成26年11月8日（土）（エコドライブ推進月間）
- ・内容 エコドライブ推進運動のさらなる活性化のため、家族で楽しみながら県内の観光スポットをラリー方式で回り、燃費改善率を競うコンテストを開催した。
- ・実績 49名参加（参加車両20台）

②地球温暖化防止県民大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成26年12月6日(土)（地球温暖化防止月間）
- ・会 場 パレブラン高志会館（富山市）
- ・内 容 県民の地球温暖化防止への理解を深め、一層の取組みを推進するため、基調講演や活動報告、表彰等を行い、地球温暖化防止の普及啓発や取組みへの意欲の増進を図った。
- ・実 績 約160名参加
環境とやま県民会議会長表彰（地球温暖化対策推進功労）
1 団体、1 事業所
とやまストップ温暖化アクト賞表彰
2 個人、2 団体、2 事業所

③ノーマイカー運動への参加

- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・実施時期 平成27年2月9日(月)～2月20日(金)
- ・内 容 公共交通の利用拡大と環境負荷軽減を目的に実施されるノーマイカー運動に参加することで、過度にマイカーに依存した生活を見直し、エコライフスタイルへ転換するきっかけとした。

④エコアクション21推進事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団（エコアクション21地域事務局）
- ・実施時期 平成26年4月～平成27年3月
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、導入を促進した。
- ・実 績 認証・登録：100 事業者（とやま地域事務局受付分、平成27年3月末現在）、イニシアティブ・プログラム：8 事業者

⑤住宅用太陽光発電システム導入促進補助事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 平成26年4月～10月
- ・内 容 平成26年3月31日までに、太陽光発電普及拡大センター（J-PEC）に補助金申込書を提出し、受理された方を対象として助成を行った。なお、助成金申請の総額が予算額に達した平成26年10月で、受付けを終了した。（県の補助金額：50千円/件、補助件数：660件）

(2)とやま節電・省エネキャンペーン2014

①クールビズ、ウォームビズ、うちエコ！の実践

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践した。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践した。

さらに、クールビズ、ウォームビズの取組みをオフィスから家（うち）の中まで広げて「うちエコ！」を実践した。

②地球温暖化防止のためのCO₂削減／ライトダウンキャンペーンの実施

- ・主 催 環境省、富山県、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成26年6月21日(土)～7月7日(月)
- ・内 容 夏至の日と七夕両日の夜8時から10時までの2時間を特別実施日として設定し、「ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。」をスローガンに、家庭の不要な電気の消灯や、安全面、防犯面等で支障のない範囲でのライトアップ施設の消灯への協力を呼びかけた。
- ・実 績 協力施設：547施設

(3)環境教育・環境保全活動の推進

①環境とやま県民会議総会、エコライフ・アクト大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成26年6月22日(日)（環境月間）
- ・会 場 総曲輪グランドプラザ（富山市）
- ・内 容 環境とやま県民会議総会を開催し、事業計画等を報告した。また、同日、エコライフスタイルを推進するため、エコライフ・アクト大会を開催した。
- ・実 績 約300名参加

②エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成26年4月～平成27年3月
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに基づき、「エコライフ・イベント」を実施した。また、構成団体においては積極的に参加し、エコライフへの理解を深めた。
- ・実 績 約30,000名参加

市	期間	テーマ	来場者数
南砺市	4月～11月	エコビレッジ構想の具現化	690名
富山市	7月19日（土） 7月27日（日）～ 8月31日（日）	消費者が主役 行動しよう！ 地球への思いやり とやまの未来は君が作る！	770名 2,500名
高岡市	7月30日（水） 11月21日（金）	環境に対する意識の育成 バイオマスの有効活用	13名 16名
黒部市	8月31日（日）	エコライフスタイルの促進	3,420名
魚津市	9月27日（土）	つなごう未来へ自然の恵み・魚津・山～海	800名
射水市	10月5日（日）	エコへの挑戦は未来への贈りもの	3,200名
滑川市	10月18日（土）	一人ひとりにできるエコ。つなげて広げよう未 来へと！！	300名
小矢部市	11月8日（土） 11月9日（日）	地球温暖化防止	10,000名
砺波市	11月30日（日）	エコライフの推進	9,000名
氷見市	3月29日（日）	氷見の豊かな自然から水環境を考える	30名

③環境保全・環境教育に関する活動支援事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施期間 平成26年4月～平成27年3月
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談への対応、幼児とその保護者を対象としたエコライフ教室及び小学生とその保護者を対象とした環境学習体験ツアーの企画運営を行った。
また、企業と民間団体等の連携・協働による環境保全活動を促進するため、「ピカピカ清掃・エコノワとやま交流会」を開催するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じて情報発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図った。
- ・実 績 エコライフ教室：15回、環境学習体験ツアー：6回
ピカピカ清掃・エコノワとやま交流会の開催
(平成27年3月4日(水)、約150名参加)

④とやま環境チャレンジ10事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施期間 平成26年4月～平成27年3月
- ・内 容 小学4年生（10歳）の児童が、家庭における10の取組みを4週間実践することにより、児童と家族の環境保全意識を高めた。
- ・実 績 県内全市町村で合計67校、児童3,107名

⑤スターウォッチング推進事業の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施期間 星空観察会：平成26年 8月22日(金)
望遠鏡の使い方等を学ぶ講習会：平成26年10月17日(金)、18日(土)
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気への関心を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践への契機とするため、星空観察会及び望遠鏡の使い方等を学ぶ講習会を開催した。
- ・実 績 星空観察会：65名参加、望遠鏡の使い方等を学ぶ講習会：20名参加

⑥環境教材等の配布

- ・主 催 (公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団への寄付金を活用し、環境教育向け教材を配布し、環境教育の推進や地球温暖化問題に対する理解や実践を促した。